

1 調査名称：(愛知県) 総合都市交通体系調査
(都市計画道路総見直し方針策定及び都市計画道路網の見直し検討)

2 調査主体：愛知県

3 調査圏域：愛知県全域

4 調査期間：平成28年度～平成30年度

5 調査概要：

平成28年度に作成した都市計画道路見直し方針素案を参考にして、学識経験者を含めた「都市計画道路見直し検討会議」における検討を踏まえ、関係機関等と意見交換を行いつつ都市計画道路見直しの手順を検討したうえで、見直しの必要性やその手順等を「愛知県都市計画道路見直し方針」としてとりまとめる。

また、都市計画道路見直しの手順に基づき検討を行ったうえで、本庁事業課、建設事務所や市町村等の関係機関と調整を行い、未整備路線について路線ごとの必要性、実現性等について整理する。なお、未整備路線の路線ごとの必要性、実現性を考慮したうえで将来交通量推計を実施し、都市計画道路見直し結果が交通状況に与える影響を定量的に確認する。

I 調査概要

- 1 調査名称：（愛知県）総合都市交通体系調査
（都市計画道路総見直し方針策定及び都市計画道路網の見直し検討）
- 2 報告書目次
 1. 業務概要 1
 2. 都市計画道路を取り巻く情勢 3
 3. 都市計画道路見直し方針の作成 37
 4. 全県での見直し候補路線（案）の作成 72
 5. 都市計画変更素案の作成 121
 6. 関係機関等との協議資料作成 150
 7. 打合せ協議 163
 8. 今後の課題 167

3 調査体制

(愛知県)都市計画道路見直し検討会議

4 委員会名簿等：

<別表1> 構成員名簿

地方公共団体名	所属	職名
愛知県	建設部	技監
愛知県	建設部都市整備課	課長
愛知県	建設部道路維持課	課長
愛知県	建設部道路建設課	課長
岡崎市	都市整備部都市計画課	課長
豊川市	建設部都市計画課	課長
西尾市	建設部都市計画課	課長
稲沢市	建設部都市計画課	次長兼課長
蟹江町	産業建設部まちづくり推進課	課長
愛知県	建設部都市計画課	課長

<別表2>アドバイザー名簿

(敬称略)

氏名	職名等
松本 幸正	名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授
田中 淳子	愛知学院大学 大学院法務研究科 教授

II 調査成果

1 調査目的

本県の都市計画道路は、戦後から高度経済成長期において、その多くが都市計画決定され、その後も人口増加や市街地の拡大等を背景に都市計画道路の追加・変更が行われてきた。

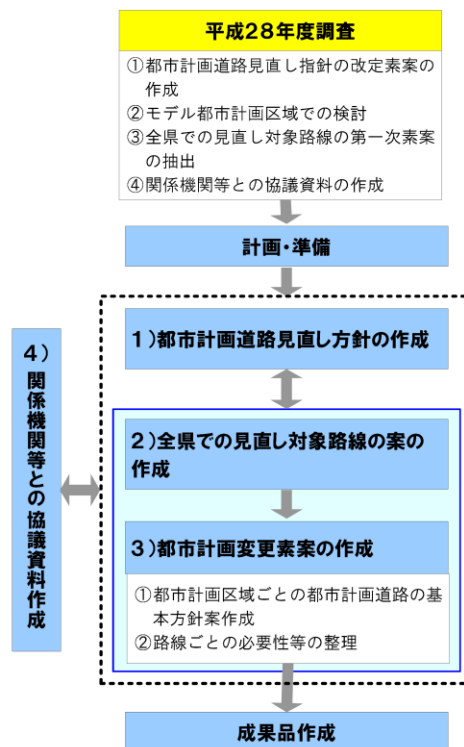
近年では自然環境への配慮、少子高齢化の進行や人口減少社会の到来といった社会情勢の変化に対応した総合的・効果的な道路整備や、まちづくりと整合のとれた道路計画が求められたことから、本県では、平成17年3月に「都市計画道路見直し指針」を策定し、各路線の必要性などを確認したうえで都市計画道路の廃止、幅員や線形などの変更等を順次進めてきた。

しかしながら、この指針による都市計画道路の廃止等は一部市町の路線・区間に留まり、長期にわたり事業着手されていない都市計画道路は現状でも多数存在している。また、現指針の策定から約10年が経過しており、我が国はすでに人口減少局面に入っていることや、今後は都市部を中心に高齢者の急速な増加が予測されているといった大きく変化する社会経済情勢等へのさらなる対応が求められている。

今後、このような状況に対応するため、平成28年度に検討した都市計画道路見直し方針素案に検討を加え、「愛知県都市計画道路見直し方針」を作成するものである。加えて、全県の見直し対象路線案の作成、都市計画変更素案の作成などを行うものである。

2 調査フロー

図表 1-1 業務フロー



4 調査成果

4. 1 都市計画道路見直し方針の策定

本県の都市計画道路の特性、第 5 回中京都市圏パーソントリップ等の各種調査結果、少子高齢化等の社会情勢の変化等をもとに、愛知県としての基本的な考え方を示した「愛知県都市計画道路見直し方針」を策定し、平成 30 年 8 月に公表した。

4. 2 全県の見直し対象路線案の作成、都市計画変更素案の作成

未整備路線について、路線ごとの必要性、実現性等について確認した。また、未整備路線の路線ごとの必要性、実現性を考慮したうえで将来交通量推計を実施し、都市計画道路見直し結果が交通状況に与える影響を定量的に確認した。